

## 鳥取県教育委員会 表彰を受賞

このほど大山西小学校長の橋本慎一さんが、鳥取県教育委員会表彰を受賞されました。

橋本さんは、豊富な経験と卓越した見識を持ち、さまざまな分野でリーダーシップを発揮されています。校内では教職員の教科・領域指導、生徒指

導、環境整備など、また校外では算数科の指導者として、そして校長会における活動は模範とされるなど、多大な功績が認められました。



▲橋本慎一さん

## 野鳥巣箱コンクールで快挙

鳥取県が愛鳥思想の普及を図るために実施している野鳥巣箱コンクールには、毎年県下から多数の応募があります。今年は金賞1点、銀賞2点、銅賞

3点、佳作5点が選ばれた中で、大山町の3作品がみごと入賞する快挙を達成しました。町内の入賞者は次のとおりです。

金賞 行天健太さん（大山中1年）  
銀賞 汐田隼人さん（大山小5年）  
佳作 清水九十九さん（大山中1年）

## 中学校英語弁論で 全国大会に出場

大山中学校3年の畑中悦さんが、11月26日（金）に東京で開催された高円宮杯全日本中学校英語弁論大会中央大会に出場されました。

畑中さんは「気持ちを込めて精いっぱい」の発表ができた。テーマキュラ交流のホームステイで学んだことも述べ

た。国際交流の仕事に就く夢の実現に向けて、これからも日本語と英語をもっと勉強していきたい」と話しました。



▲会場前で 畑中悦さん

## 電子黒板の有効利用をめざして

～小学校教員が研修～



▲操作方法を実習

町内の4小学校に4月から1台ずつ導入され、外国語活動などで利用されている電子黒板の有効利用を図ろう

と、中山小の教員の声かけで、町内小学校教員を対象に、11月12日（金）に同校で電子黒板の操作研修会が開かれました。

「アクティブスタジオ」というソフトを使い、画面上に自分が必要とする写真や図を映し出し、その映像に自由に文字や線を書き込んだり、図形を回転する操作などを学びました。講師から、漢字の一面一面の色を変えて書き順を指導する方法などを紹介されると、会場から感嘆の声が上がりました。

電子黒板の良さは、映像のわかりやすさや、黒板に書く時間の短縮により子どもと向き合える時間が増えること

です。研修により、さらに効果的な活用が期待できます。参加者の一人は「この研修会で習得したことをこれからの授業に取り入れ、指導方法の工夫改善を図りたい」と意欲的に話しました。

## スクールガード・リーダー 指導で防犯訓練を実施

～大山小学校～

11月8日（月）、大山小学校では、4年生以上の児童と教員約60人が参加して、不審者の侵入を想定した防犯訓練を実施しました。

町が防犯の専門家として委嘱しているスクールガード・リーダーの船田邦昭さん（御来屋11区）が不審者に扮装して校舎3階の教室に侵入する実演を行いました。参加した職員は船田さんから誘導などの対応や救護、通報などについて指導助言を受けました。



▲さすまたや身近にあるものを使っての不審者に対応する実地訓練の様子